

第9期介護保険事業計画「取組と目標」(介護給付等に要する費用の適正化)の報告シート
(介護給付適正化 取組状況調査)

事業名	①取組内容及び体制(予定) ・特に力を入れて行う事項や、効果を上げる、費用を低減させる等のために工夫する点など	②期待される効果	③実施目標値(頻度、量など)	④優先順位	R6年度実施状況 (リストから選択)	R6年度実施内容	自己評価
1 要介護認定の適正化 (認定調査状況チェック)	全ての調査票について、職員が内容の点検を行う。	調査内容のばらつきがなくなる。	調査票全数に対して実施する。	1	○予定通り実施	全ての調査票について、職員が内容の点検を行った。	達成できた
2 ケアプランの点検	市内の事業所にケアプランの提出を求め、点検を行う。ケアプラン分析システムの活用。	ケアプランの質の向上 介護支援専門員のスキルアップ	年1回以上の実施	2	○予定通り実施	年8回、8事業所実施	達成できた
3 医療情報との突合・縦覧点検	国保連合会に委託して、継続して行っていく。	請求誤りの削減。	毎月実施	4	△一部実施	1. 医療情報との突合 国保連の突合リストをもとに事業所に確認を行っている ※(行っている・行っていない)のいずれかを選択して御記載ください。 2. 縦覧点検 国保連から送付されたデータをもとに過誤処理を行っているが、活用できていないデータもある	概ね達成できた
4 給付実績の活用 (適正化システムの情報活用) 注)医療突合・縦覧点検を除く	適正化システムの情報を活用し、給付実績の確認を行う。	不適正な請求の発見と是正。	疑義のある給付等について随時実施	5	△一部実施	疑義のある給付等について随時実施	概ね達成できた
5 その他の適正化事業	給付費データと認定データ(主治医意見書・認定調査票)との突合で疑義のある給付についての調査を行う。	不必要である給付の削減を行うことが出来る。	疑義のある給付等について随時実施	3	○予定通り実施	疑義のある給付等について随時実施	概ね達成できた